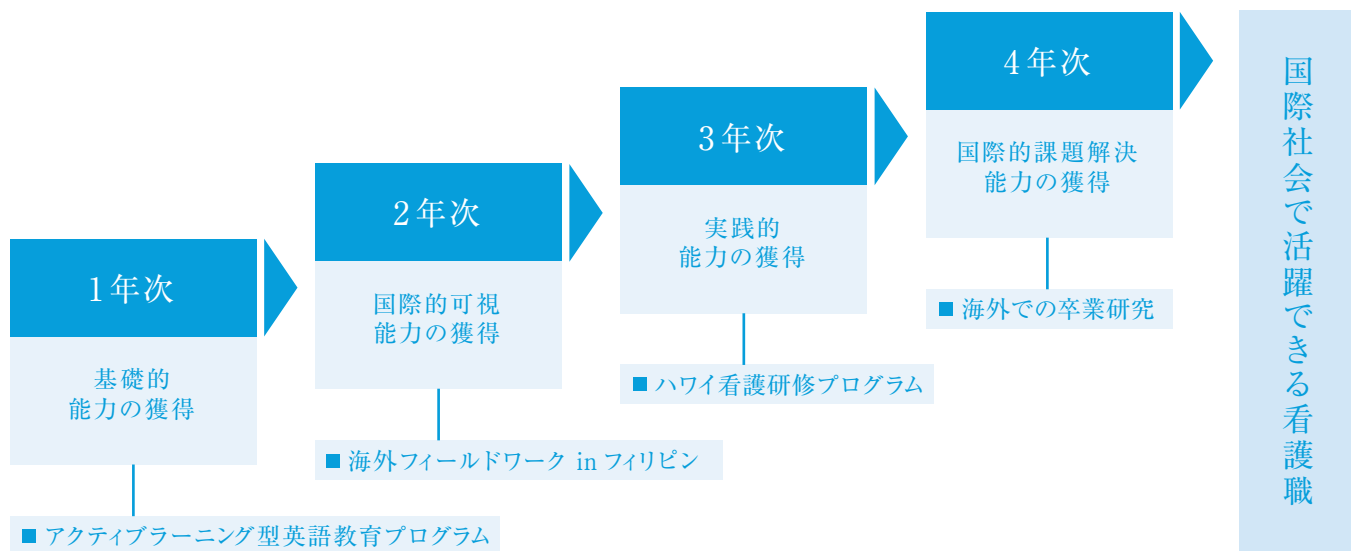


# グローバル教育の取り組み

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解することによって視野の広い看護職を育成するため、1年次から4年次までのカリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。1年次から全学で取り組む Practical English で培った英語力を基盤に、年次ごとにさまざまな国際体験を積むことができます。



## 1年次

### アクティブラーニング型英語教育プログラム

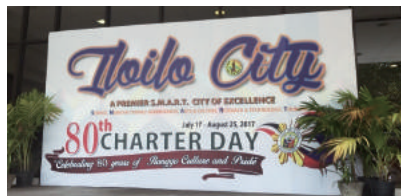
1年次の必修科目である「看護の統合と実践I」において「看護を目指す初学者が国際的視野を持ち看護に対する理解を深めることができる」ことを目指し、アクティブラーニングの手法を取り入れながら英語による実践的教育を行っています。この授業では、Practical English センター（以下、PEセンター）や外国人模擬患者の協力を得て経験型学修を取り入れた講義・演習を行い、看護実践におけるコミュニケーションの重要性、英語によるコミュニケーションを学びます。看護学科1年生全員が、前期はシナリオに基づき患者の立場で、後期は、医療者の立場で医療コミュニケーションを学びます。最終的に外国人模擬患者を相手に、学修した英語を用いた医療コミュニケーションを活用した看護を実践し、外国人模擬患者から学生に評価表を用いてフィードバックをもらいます。



## 2年次

### 海外フィールドワーク in フィリピン

2年次「国際看護学I」の授業においては、国際看護の視点を養うことを目的に、海外フィールドワークを実施しています。開発途上国における母子保健の現状や、行政、WHO等の実際の活動に触れます。フィリピンのマニラ市やイロイロ市では、現地の学生や地域住民との交流を通じて異文化への理解を深めるとともに、現地コミュニティのクリニックや保育園を訪問し、歌や劇を交え子どもたちに衛生教育や健康教育を行います。現地の看護学生とも交流し、異なる文化、医療体制などをテーマにプレゼンテーションや意見交換をします。さらに、WHO西太平洋地域事務所を訪問し、西太平洋地域における母子保健の現状や、開発協力の実際について話を聞き国際的な視点を養います。



## 3年次

### ハワイ看護研修プログラム

3年次には10日間、米国ハワイにおいて英語と海外の看護学部の授業や医療現場を学ぶプログラムが用意されています。ハワイ・オアフ島に滞在し、そこでは看護英語と英語によるプレゼンテーションスキルを学びます。同時にハワイ大学マノア校看護学部の演習授業に参加、外国の看護教育の現場に触れるとともに現地学生との交流を通じて国際的コミュニケーションスキルも培います。さらに、病院見学を通じた米国医療・看護の実際を見学し、現地専門看護師による講義、フィールドワーク等を行いながら、国際看護の知見を深めていきます。最終日には現地での学びを英語プレゼンテーションとしてまとめ発表し、現地英語講師から講評を受けます。また、本プログラムでは現地での学びをより確かなものにするため、出発前にPEセンターの看護師資格をもつネイティブ英語講師による「英語学習会」を毎週実施。学習会では医療看護英語だけでなく、コミュニケーション、ディスカッションなどのスキルアップを目指します。



## 4年次

### 海外での卒業研究

海外での卒業研究（調査）は看護の統合と実践Ⅲ（統合実習）に位置付けられます。看護実践の向上にかかわる個々の関心やテーマ（課題）を追求するためのフィールドとしてフィリピンにおける調査が可能です。研究フィールドはコミュニティクリニックや現地住民の集会場などです。4年次は、学生自身の看護に対する考え方や卒業後の進路が明確となります。それに伴い学生個々の興味関心事が多様化し、近年では、卒業後に海外で働くことを希望する学生が増加しています。そのためYCUでは4年間の学修における集大成である卒業研究を、国内だけではなく海外でも行えるよう、学生のニーズを尊重しサポートする体制を整えています。



### 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の助成を受けて実施される海外学生交流プログラム。2017年度は「災害医療と看護-日本・フィリピンにおける災害医療と看護の役割」をテーマにフィリピン大学（UPM）から学生・教員を横浜へ招聘し、YCU看護学生との交流事業を実施しました。プログラムは施設訪問（附属2病院・JICA・CITYNET横浜等）・学内外講師による講義・本学講義「国際看護学I」におけるUPM・YCUによる共同グループワーク等、多彩な内容で展開しました。グループワークでは両校の学生による活発な議論・プレゼンテーションが英語で行われ、環境や制度が異なる国の学生同士、異なる視点を生かしながら災害医療と看護について有意義な学びを得ることができました。最終日には学生主体の文化交流も行われ、将来につながる友好的な学生間ネットワークが形成されました。



学生の声

### 将来のキャリアを具体的に定めるためのきっかけとなった貴重な経験。

渡航先：フィリピン（マニラ市・イロイロ市）

看護学科3年

大谷 紗良 Sara Ohtani 神奈川県立横浜国際高等学校卒

中学生の時から英語でコミュニケーションを取ることが好きで、海外の看護にも興味があったので参加を決めました。フィリピン大学の学生とのディスカッションをする時間があったのですが、自分の意見を理解してもらうことができ、前より英語力に自信がついたと思います。それと同時に、現地実習では専門的な看護の知識不足を痛感し、看護を学ぶ姿勢を見直す良いきっかけとなりました。現地の人の考え方や文化など、

海外フィールドワークに参加して初めて得られる学びが沢山ありました。今後も機会があればさまざまな地域の看護を学びたいと考えています。そして、今回の学修とこの先訪れる国々での経験を生かして、物事を多角的に捉えられるようになりたいです。今後より一層積極的に行動し、医療従事者として更なるステップアップを目指したいと思います。





# 世界へ羽ばたく

世界に通用する力を手に入れ、果敢に挑む

GO ヨコハマから世界へ  
GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.



わたしたちが目指す未来は、世界が相手だ。

日本にいてもグローバルにつながる国際社会で生きていくことになる。

想像を超えるほどの多様性に溢れ、複雑で高度な社会。

YCUには、世界に通用する力を養うための学びがある。

まずは、心強い武器となる言葉の力を手に入れ、

世界の大学とつながる絶好の環境で、国際センスを磨く。

YCUで、国際都市ヨコハマで、グローバルな学びを積み重ねる。

そして舞台は、世界へ。

世界の地へ臆せず踏み出し、さまざまな文化や歴史、思考に出会う。

目で見て、肌で感じ、体験したことから

柔軟な国際感覚を身に付け、

世界を相手にできるだけの対応力、実践力へと変えていく。

YCUは、そんなわたしたちの挑戦をいつも支えてくれる。

わたしたちが目指す世界は、果てしなく広い。



# 02 | グローバル教育

## グローバル人材育成の体系図

STEP1 世界を相手にする語学力と適応力を手に入れる

## 英語教育体系

専門科目・全学開放科目

- Global Business Strategy
- Learning Global Cooperation in English
- Global Leadership など

英語での講義が  
理解できる基準

共通教養科目

- 多文化交流ゼミ
- 英米文化理解
- 総合講義 (Education in the World) など

TOEFL 600

APE 科目

|                 |                             |                     |                                  |                             |
|-----------------|-----------------------------|---------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| TOEFL 540 ~ 550 | ●APE V<br>TOEFL iBT         | ●APE VI<br>IELTS    | ●APE VII<br>TOEIC                |                             |
| TOEFL 520 ~ 540 | ●APE II<br>Speaking         | ●APE III<br>Writing | ●APE IV<br>Academic Study Skills | ●APE IV<br>Business English |
| TOEFL 500 ~ 520 | ●APE I<br>Four Basic Skills |                     |                                  |                             |

海外留学最低基準※

到達目標  
TOEFL 550  
IELTS 6.0  
TOEIC 800

PE 科目

|           |                    |                  |                  |
|-----------|--------------------|------------------|------------------|
| TOEFL 500 | ●PE ①<br>Listening | ●PE ②<br>Reading | ●PE ③<br>Grammar |
|-----------|--------------------|------------------|------------------|

必修  
TOEFL 500

PE : Practical English APE : Advanced Practical English

※本基準は、海外の大学で専門科目の単位取得を目指す場合の国際的な基準です。  
本学学内における海外留学・研修プログラムの基準と異なる場合があります。



## キャンパスにいたがらのグローバル体験

YCUは、皆さんの語学力を試す場としてさまざまな機会を準備しています。海外への留学もそのひとつですが、キャンパスの中で自分の語学力を伸ばすこともできます。海外からYCUへやって来る留学生との交流により留学への意欲を醸成します。

### サマープログラム

海外大学の夏期休暇期間を利用して、海外から学生を受け入れ、一緒に授業を受けたり、研究活動を行うプログラムです。海外の学生と議論やグループワークを行うことで、これまでにない考え方や発想に触れることができます。

### 国際交流型シェアハウス

YCUは、留学生とYCU学生が共同生活を送るためのシェアハウスを金沢文庫駅近くに有しています。留学生と一緒に生活を送ることで、考え方、生活習慣、文化の違いに触れ、新しい学びへとつなげていくことができます。※女子学生限定です

### チューター制度

チューターとは、海外からの留学生の大学生活をサポートする学生のことです。チューターとなって、オリエンテーションでのサポート、履修アドバイス、キャンパス案内など留学生と交流することで国際感覚を養うことができます。

STEP2 海外で学び、実践する。挑戦する



1 留学プログラム 短期 長期 交換留学 第2クォータープログラム ..... p.28

2 海外フィールドワーク ..... p.30

3 ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム 海外インターンシップ ..... p.32

4 国際ボランティア ..... p.32

5 アカデミックコンソーシアム ..... p.27



# 海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進する YCU では、その中の 29 の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。

夏季または春季の休暇を利用した短期留学プログラムの他、長期派遣プログラムや交換留学プログラム、海外フィールドワーク支援プログラムなどがあり、毎年多くの学生が世界の各地で国際性を磨きながら成長しています。

## YCU の国際交流ネットワーク

世界 29 ヲ国・地域の大学・研究所等とのネットワーク

### ヨーロッパ

|                                                    |                                                          |                                 |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------|
| イタリア<br>●ベネチア大学                                    | ルーマニア<br>●ブカレスト大学                                        | スイス<br>●チューリッヒ大学                |
| オーストリア<br>●ウィーン大学                                  | セルビア<br>●ベオグラード大学                                        | ベルギー<br>●ルーヴェンカトリック大学           |
| ドイツ<br>●ゲーテ大学<br>●ミュンヘン大学                          | スペイン<br>●ナバラ大学<br>●マドリードコンプルテンセ大学<br>●サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 | オランダ<br>●ユトレヒト大学                |
| フランス<br>●リヨン第3大学<br>●パリ公立病院連合(AP-HP)<br>●パリ・デカルト大学 | フィンランド<br>●オウル大学                                         | スウェーデン<br>●オレブロ大学<br>●ハルムスタード大学 |

### 北アメリカ

アメリカ  
●カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)  
●カリフォルニア大学アーバイン校 (UCI)  
●UCSD 海洋研究所 (Scripps)  
●サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所  
●テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター  
●ラホヤアレルギー免疫研究所 ●テンブル大学

カナダ  
●ブリティッシュコロンビア大学 (UBC)  
●マニトバ大学 ●モントリオール大学

### 中南米

ブラジル  
●リオグランデ・ド・スル連邦大学

### アフリカ

ウガンダ  
●マケレレ大学

### アジア・オセアニア

|                                        |                                                  |                                                                                               |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| オーストラリア<br>●ディーキン大学                    | ベトナム<br>●貿易大学<br>●ベトナム国家大学<br>ホーチミン市校            | 韓国<br>●仁川大学校<br>●世明大学校<br>●光州科学技術院<br>●ソウル国立大学<br>●浦項工科大学校<br>●高麗大学校<br>(世宗キャンパス)<br>●淑明女子大学校 |
| シンガポール<br>●シンガポール国立大学                  | マレーシア<br>●マレーシア科学大学                              | インドネシア<br>●ハサヌディン大学                                                                           |
| タイ<br>●タマサート大学<br>●チェンマイ大学<br>●カセサート大学 | 中国<br>●上海師範大学<br>●上海交通大学<br>●北京師範大学              |                                                                                               |
| ネパール<br>●クオパ工科大学<br>●トリバパン大学           | 台湾<br>●国立台湾師範大学<br>●東海大学<br>●国立虎尾科技大学<br>●国立政治大学 |                                                                                               |
| フィリピン<br>●フィリピン大学                      |                                                  |                                                                                               |

### ◎国際交流実績

世界各国  
**29 ヲ国・地域**  
(2019年4月現在)

外国人留学生数  
**126 人**  
(2019年5月1日現在)

海外交流大学・研究機関  
**58 大学・研究所**  
(2019年4月現在)

国際ボランティア参加者数  
**37 人**  
(2018年度実績)



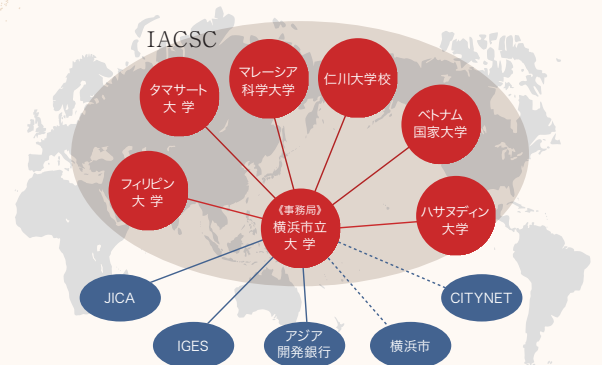
地球規模の課題を海外の現場で学び、  
考え、分析し、解決する

## アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム(IACSC※1)」を2009年に創設し、横浜市およびJICA・アジア開発銀行(ADB)・CITYNET等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。IACSCでは「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3分野を中心に据え、①年次総会・国際シンポジウムの運営(2019年度はインドネシアのハサヌディン大学で開催予定)、②国際共同研究の推進、③持続可能な都市づくり共通教育プログラム(SUDP※2)の実施、④海外フィールドワークやサマープログラムによる国際学生交流、といった多岐にわたる活動を各国で展開しています。YCUの「グローバル都市協力研究センター(GCI※3)」は2011年に設立され、IACSCネットワーク全体の事務局として上記の諸活動の企画立案、各参加大学や協力機関との交渉や調整、教育・研究プログラムの実施を担当しています。YCUの学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得ることで、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。GCIは、学生が国内や海外のフィールドに出て、都市の現場が抱える現状と課題に向き合い、新たな知識と経験を得て実践的に課題解決を目指すことのできるグローバル人材の育成を支援していきます。

※1 IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities  
※2 SUDP: Sustainable Urban Development Program  
※3 GCI: Global Cooperation Institute for Sustainable Cities

### 【アカデミックコンソーシアム (IACSC)】



### 【主な参加大学・協力機関等】

- ・マレーシア科学大学
- ・タマサート大学(タイ)
- ・フィリピン大学
- ・ベトナム国家大学
- ・ハサヌディン大学(インドネシア)
- ・仁川大学校(韓国)
- ・横浜市
- ・独立行政法人 国際協力機構(JICA)
- ・公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)
- ・アジア太平洋都市間協力ネットワーク(CITYNET)
- ・アジア開発銀行(ADB)



# 短期・長期・交換留学・研修プログラム

YCUの留学プログラムは、外国の文化、言語、自然、社会等に関する知識を修得し、現地での交流を通して豊かな国際感覚を養うことを目的としています。大学プログラムではYCUからの補助金や、後援会からの助成金など、さまざまな経済的支援制度があります。また、海外渡航に向けて計画的に資金準備をするため2018年4月より「《よこしん》YCU海外留学定期積金」の運用を開始しています。

## 短期留学プログラム

夏季休暇期間を利用して参加するプログラム。

| 名称     | 国名     | 留学先大学等                  | 費用      |
|--------|--------|-------------------------|---------|
| 夏季語学研修 | カナダ    | サイモンフレイザー大学             | 50万円～   |
|        | アイルランド | ダブリンシティユニバーシティ          | 約60万円   |
|        | フランス   | トゥーレーヌ語学学院              | 50～60万円 |
|        | スペイン   | ナバラ大学                   | 約60万円   |
| 夏季講座   | アメリカ   | UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校) | 100万円～  |

## 第2クォータープログラム

2年次前期の後半の間に参加するプログラム。

| プログラム内容            | 行先大学                                                                                                                            | 言語                          | 費用        |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 学部授業               | ユトレヒト大学 (オランダ)、UCLA (アメリカ)、UBC (カナダ)                                                                                            | 英語                          | 約50～100万円 |
| サマースクール            | ウェスタンオンタリオ大学 (カナダ)、高麗大学校 (韓国)、淑明女子大学校 (韓国) <sup>※2</sup> 、香港中文大学 (香港)、国立政治大学 (台湾)、シンガポール国立大学 (シンガポール)、チェンマイ大学 (タイ)              | 英語                          | 約20～45万円  |
| 英語研修及び初習外国語研修プログラム | ダブリンシティユニバーシティ (アイルランド)、サイモンフレイザー大学 (カナダ)、トゥーレーヌ語学学院 (フランス)、ナバラ大学 (スペイン)、ウェルツブルク大学 (ドイツ)、北京師範大学 (中国)、淑明女子大学校 (韓国) <sup>※2</sup> | 英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国語 | 約30～80万円  |

## 長期留学プログラム 【出発時に学部2年次以上】

| 国名                 | プログラム名                              | 語学要件                                        | プログラム期間             | 費用                                      |
|--------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------|
| アメリカ               | ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム <sup>※</sup> | PE取得以上／TOEIC600相当以上 (他の英語力試験において相当であれば選考対象) | 2月～8月／8月～1月 (年2回派遣) | 100～120万円                               |
| オーストラリア、アメリカ、イギリス等 | ブリッジプログラム                           | TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上 (但し派遣先による)      | 2月～4月より1年           | 300～500万円 (YCU学費免除)                     |
| アメリカ、カナダ、イギリス等     | セメスター留学                             | TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上 (但し派遣先による)      | 8月～9月より半期または1年      | 350～950万円 (YCU学費免除) 半期 250万円～/1年 350万円～ |

<sup>※</sup>：応募可能な学部が指定されています。

## 交換留学プログラム

【出発時に学部2年次以上】 大学間の協定に基づき派遣される交換留学プログラム。

| 国名     | 留学先大学等                | 語学要件                                                | プログラム期間              | 費用             |
|--------|-----------------------|-----------------------------------------------------|----------------------|----------------|
| イタリア   | ベネチア大学                | TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上                         | 9月初旬より1年             | 160万円          |
| フランス   | リヨン第3大学               | 応募書類、筆記・面接で確認                                       | 8月下旬より1年             | 160万円          |
| ドイツ    | ゲーテ大学 <sup>※1</sup>   | 詳細はWebサイトで確認してください。                                 | 10月初旬より1年            | 160万円          |
| オーストリア | ウィーン大学                | 応募書類、筆記・面接で確認                                       | 3月初旬より1年             | 160万円          |
| スペイン   | ナバラ大学                 | 英語：TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上<br>スペイン語：面接で確認        | 9月初旬より1年             | 150万円          |
| スペイン   | サンティアゴ・デ・コンポステラ大学     | スペイン語：面接で確認                                         | 9月初旬より1年             | 150万円          |
| スウェーデン | オレブロ大学 <sup>※1</sup>  | 詳細はWebサイトで確認してください。                                 | 9月初旬より1年             | 130万円          |
| フィンランド | オウル大学 <sup>※1</sup>   | 詳細はWebサイトで確認してください。                                 | 9月初旬より1年             | 160万円          |
| カナダ    | モントリオール大学             | 応募書類、筆記・面接で確認                                       | 9月初旬より1年             | 170万円          |
| メキシコ   | アメリカス・プエブラ大学          | 英語：TOEFL-iBT71以上またはIELTS6.0以上<br>スペイン語：面接で確認        | 8月中旬より1年             | 150万円          |
| 中国     | 上海師範大学                | 応募書類、面接で確認                                          | 9月初旬より半期または1年        | 100万円 (1年間の場合) |
| 台湾     | 東海大学                  | 中国語：面接で確認<br>英語：TOEFL-iBT61以上<br>または、IELTS5.5以上     | 9月中旬より1年             | 90万円           |
| 台湾     | 国立政治大学                | 中国語：面接で確認<br>英語：TOEFL iBT 61 以上<br>または IELTS 5.5 以上 | 9月中旬より1年             | 110万円          |
| 韓国     | 仁川大学校                 | 応募書類、面接で確認                                          | 8月下旬または2月下旬より半期または1年 | 110万円          |
| 韓国     | 高麗大学校 (世宗キャンパス)       | 韓国語：面接で確認<br>英語：TOEFL-iBT61以上、IELTS5.5以上            | 9月初旬より1年             | 140万円          |
| 韓国     | 淑明女子大学校 <sup>※2</sup> | 韓国語：面接で確認<br>英語：TOEFL iBT 61 以上または IELTS 5.5 以上     | 9月初旬より1年             | 120万円          |
| タイ     | タマサート大学               | TOEFL-iBT61以上または、IELTS6.0以上                         | 8月初旬より1年             | 100万円          |
| タイ     | チェンマイ大学               | 詳細はWebサイトで確認してください。                                 | 8月初旬より1年             | 100万円          |
| マレーシア  | マレーシア科学大学             | TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上                         | 8月下旬より1年             | 80万円           |

<sup>※1</sup>：国際商学部の学生が応募できます。 <sup>※2</sup>：性別を問わず参加できます。 <sup>※</sup>経費概算は旅費・保険等を含んだ目安です。

YCUの海外留学支援  
webサイトはこちら



### 短期留学体験者インタビュー (カリフォルニア大学ロサンゼルス校夏季講座)

留学先：アメリカ (UCLA (University of California, Los Angeles)  
2017年8月～9月)

## 海外留学で自信がつき、積極的に 新たな挑戦を行う姿勢が身に付いた。

国際総合科学部 理学系 生命環境コース 3年  
群馬県 私立ぐんま国際アカデミー高等部卒

村山 ほのか Honoka Murayama

高校時代に英語学修に励んでいたこともあり、海外の大学での授業に参加し、自分の英語力を試してみたいと思っていました。本プログラムでは6週間UCLAで勉強することができ、友達もできたことで自分の中で大きな自信につながり、これからはもっと新しいことに挑戦していこうという気持ちが強くなりました。また、多くの人と出会う中で自分の視野が広がりました。今はまだどのような道に進みたいのか、具体的には決まっていませんが、インターンシップに参加したり、ボランティア活動を行ったり、資格取得に挑戦してみたりと、本当に自分がしたいことを見つけ、それに対して全力で取り組みたいと考えています。



### 長期留学体験者インタビュー (ウィーン大学交換留学)

留学先：オーストリア (ウィーン大学 2018年3月～2019年1月)

## 専攻分野の理解を深めようと訪れた 西洋哲学の本場で新たな発見の連続。

国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース 4年  
埼玉県 さいたま市立浦和高等学校卒

秀高 勇 Isamu Hidetaka

私の専攻は応用倫理学で、人工妊娠中絶の是非や医療分配の正義等の倫理的問題を扱っています。倫理学理論の多くは功利主義や義務論等の西洋哲学に基づいており、これらの理解を深めるためにウィーン大学への留学を決意しました。西洋哲学や倫理学に関する講義を通じて、これらをより体系的に理解するだけでなく、いくつかの倫理的判断が常識化していることを発見することができました。私は現在、倫理的問題の中でも特に死刑制度の是非について研究しているのですが、留学での経験を生かし、世界的な潮流となっている死刑制度廃止の支持という時世的な要素を排除した、より中立的な正しさを追求したいと思います。





# 海外フィールドワーク支援プログラム

YCU では、国際的な視野を持った人材を育成するために、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。授業の一環として実施する、海外での実践的な教育研究活動を支援するため、渡航経費の経済的補助を行っています。

## 海外フィールドワーク支援プログラム一覧

より実践的な教育研究活動ができるように各学部、学科、コース、研究科、専攻によって異なるフィールドワークがあり、それぞれプログラム期間は異なります。(2018年度参考)

| 学部<br>研究科     | コース・学科・専攻  | 科目名                             | 渡航先                             | 概 要                                                                                                                                                   |
|---------------|------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 共通教養          |            | 中国語教養実践B                        | 中国 (西安、北京)                      | 西安外国語大学や北京師範大学の学生との交流や講義の聴講、陝西省博物館や中国国家博物館等での古代の文物や漢字の遺物の鑑賞等を通じ、中国語会話の運用能力を向上させるとともに、中国の古典文化への理解を深める。                                                 |
|               |            | Advanced Practical English I~V  | シンガポール (ジュロン)                   | 南洋理工大学の授業に参加し、現地学生とディスカッションやプレゼンテーション等を行う。また、博物館、歴史的建造物や街並みを視察し、現地の訪問等を通じて異文化に直接触れる体験をする。                                                             |
| 国際総合科学部       | 社会関係論コース   | 演習Ⅰ・Ⅲ                           | フィンランド (ヘルシンキ)                  | 高齢者・障害者福祉サービスの見学を通じ、日本のそれとの相違点や北欧型福祉の実際を理解する。また、教育機関を視察し、学生の自主性を尊重した教育への理解を深める。さらに、地域住民との交流を通じ、文化や価値観を共有し、日本社会との相違等を理解する。                             |
|               |            | 演習Ⅱ・Ⅲ、卒論演習、ヨーロッパ史B、ドイツ文化論       | ドイツ (ベルリン、クラフ、オシフィエンチム)         | アウシュビッツ収容所等の博物館を訪問し、ホロコーストの歴史を学習するとともに、現地の人々との交流を通じ、現在のヨーロッパで人々はどうのようにホロコーストを受け止め、記念しようとしているかを知り、考える。                                                 |
|               | 国際文化コース    | 演習Ⅲ(イギリス文学・文化論)、イギリス文化論、イギリス文学B | イギリス (ロンドン、エディンバラ、オックスフォード)     | ケンブリッジ、オックスフォード、ロンドン、エディンバラを訪問し、イギリス文学作品に関わる資料・情報の収集とともに、現地の人々にインタビューし、作品の背景や現地での受容を調査する。また、現地4大学の学生との交流を通じてイギリスの教育制度の考察や、イギリス人の生活と環境問題についての観察・調査を行う。 |
|               |            | 演習Ⅲ、応用言語学ゼミ                     | スコットランド (エディンバラ、スターリン)          | スターリン大学を訪問し、多言語教育ワークショップへの参加や講義聴講を通して最新の多言語教育の実践について知見を得る。また、ポスター発表を通して日本とスコットランドの言語教育について現地講師や学生との意見交換・交流を行う。                                        |
|               |            | フランス文化演習Ⅱ・Ⅳ、卒論演習Ⅱ               | フランス (パリ、リヨン)                   | 現地の絵画や舞台芸術といった表象文化に触れ、歴史的建造物を訪ねることで、フランスが培ってきた文化遺産とヨーロッパの歴史を体験的に理解する。また、現地の学生との交流を通じて、海外の学生の学びの態度を知るとともに、自身の母語や文化に対し相対的な視点を得る。                        |
|               | 地域政策コース    | 海外地域政策実習                        | スウェーデン (ウプサラ、ストックホルム)、ラトビア (リガ) | SDGs (持続可能な開発目標) の実現に向けた先進的な環境取組や、プラスチック廃棄物による河川、海洋への影響と海洋環境保護の取組について、現地政府機関、地方自治体、ウプサラ大学等を訪問し、意見交換を行う。                                               |
|               | グローバル協力コース | 海外調査実習B (国連)                    | スイス (ジュネーブ)                     | ジュネーブにある国際機関、各国の政府代表部、NGO、大学を訪問し、地球規模問題の解決のために、各組織がどのような取組を行っているかインタビューや議論を通じて理解を深める。                                                                 |
|               |            | 海外調査実習C (国際協力) a                | 南アフリカ (ヨハネスブルグ)、ウガンダ (カンバラ)     | 日本の対アフリカODAの主要対象国であるウガンダと、民間の貿易投資が主に行われている南アフリカを訪問し、経済成長を促すODAや企業による貧困支援事業を比較検討し、開発援助における政府と民間の役割と課題を理解する。                                            |
|               |            | 海外調査実習C (国際協力) b                | カンボジア (プノンペン、シェムリアップ)           | 混合刑事法廷、対人地雷、世界遺産保全等について事前学習を行った上で、現地の日本大使館、カンボジア特別法廷、キングフィールド、アンコールワット等を訪問し、事前に学習した内容の実際や日本の国際協力について多角的に学ぶ。                                           |
|               | 経営学コース     | 演習Ⅰ・Ⅲ                           | タイ (チェンマイ、バンコク、アユタヤ)            | ASEAN地域内のタイ王国で現地の日系企業へのヒアリング調査を通じて国際的な視点から経営組織論を学ぶ。また、チェンマイ大学の学生とお互いの学生生活について紹介するとともに、グループ毎に文化・ビジネスに関連したテーマを設定し、フィールドワークを行う。                          |
|               |            | 演習Ⅱ                             | フィリピン (セブ)                      | 数年間交流を続けてきたフィリピン・セブの現地コミュニティを訪問し、今後の外国人労働者受入の加速に伴う課題や、それを経営課題としてどのように捉えるかについて、現地で調査する。                                                                |
|               |            | 演習Ⅰ・Ⅲ、研究指導Ⅰ・Ⅲ                   | アメリカ (ニューヨーク)                   | ニューヨーク大学・コロンビア大学や現地企業を訪問し、米国のサービス・ビジネスの知見を得るとともに、文化や歴史に触れ国際的視野を広げ、サービスビジネスについての問題意識及びグローバル意識を醸成する。                                                    |
|               | 会計学コース     | 演習Ⅰ・Ⅲ、卒論演習Ⅰ、研究指導Ⅰ               | タイ (プーケット)                      | ソクラナナカリン大学・プーケットラチャバット大学の講義に参加し、現地学生と日本及びタイ王国の会社制度、企業経営、経営制度についてプレゼンテーションやディスカッションを行うとともに、文化的な交流を図る。                                                  |
| 医学部           | 看護学科       | 看護の統合と実践Ⅲ、国際看護学Ⅰ                | フィリピン (イロイロ、マニラ)                | 現地の大学附属病院、地域保健医療施設、WHOを訪問し、発展途上国の母子保健の現状を体験し、医療人としての視野拡大に役立てる。また、現地住民に対して健康教育を行い、地域特性及び健康課題別の看護方法を学ぶ。さらに、国際シンポジウムに参加し、学生交流と国際的な取組について学術的視点の視座を養う。     |
| 生命科学<br>科学研究科 | 物質システム科学専攻 | 国際リトリート                         | イタリア (ヴェネチア、パレルモ)               | ヴェネチア大学、トレント大学、パドバ大学を訪問し、学生ワークショップ、ラボツアー、交流会を通じて共同研究やこれからの研究の発展に関する議論をするとともに、現地大学生の学修風景、大学生活と日本のそれとの違いを観察し、視野を広げる。                                    |
| 生命科学<br>研究科学  | 生命医科学専攻    | 国際リトリート                         | イギリス (オックスフォード)                 | オックスフォード大学や先端研究複合施設を訪問し、研究交流セミナー、研究室訪問等を通じて今後の研究・学生交流の発展について議論する。                                                                                     |



### 海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先：スコットランド

現地で実体験しながら学んだことを  
今後の研究に生かしていきたい。

国際総合科学部 国際教養学系 国際文化コース 4年  
神奈川県 私立向上高等学校卒  
遠藤 彩乃 Ayano Endo

今回のフィールドワークが英語圏内であり、日本CLILL教育学会が開催するワークショップに参加できること、そしてその学会で発表できる貴重な機会が得られるということもあり参加を決意しました。学会では現地の先生方からたくさんの意見をいただくことができ、自らの文化研究を振り返り、新たな視点からの考察ができるようになったと感じています。また、市街散策では英語の訛りや多言語が共存している様子を身をもって感じることもでき、知識だけではなく実体験からの学びも得られました。現地では普段聞きなれないイギリス英語に苦戦し、自らの英語力の低さを再認識したので、今後は授業を通じもっと英語力を向上させていきたいと思います。



### 海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先：タイ

海外で得られた縁を大切に  
これからは一層視野を広げたい。

国際総合科学部 経営科学系 会計学コース 4年  
山梨県立甲府西高等学校卒  
白井 梨乃 Rino Usui

私の所属する高橋ゼミでは海外フィールドワークを毎年実施し、海外の大学で日本や会計学に関わるプレゼンやディスカッションを行っています。今回は「日本の老舗企業」というテーマに加え、タイの観光産業について質問があり重厚な議論が繰り広げられました。現地の学生は日本に興味を抱いているため、たくさんコミュニケーションを図ってくれます。私は2年続けて参加していますが、現地学生との交流を通じて日本との文化や慣習の違いを知ることで絆が深まりました。また、文化の違いはあれど、興味や楽しさを感じることは同じだと感じました。海外で得た縁を大切にして、国際的なアンテナを張り、より視野を広げていきたいと思います。



# ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム 海外インターンシップ/国際ボランティア

アメリカ・フロリダ州のバレンシアカレッジでビジネスやホスピタリティに関する科目を学びながら、ディズニーワールドで就業体験を積む「ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム」。

世界中から集まる仲間との学修や生活、就業体験を通じて、グローバルに活躍するために必要なスキルと経験、マインドを獲得することができます。

また、世界のビジネスシーンに身を置いてその現場を体感し、実践的な就業体験が積める「海外インターンシップ」や、海外でさまざまな人たちと関わり、環境保護や開発途上国の子どもの支援活動といった、ボランティア活動に参加できる「国際ボランティア」などのプログラムも充実。

身に付けた語学力を駆使しながら、世界各国のさまざまな現場を肌で感じることで真のグローバル人材になるための力を養うことができます。



※学生の所属は、2018年度以前入学の学部・学系・コース名となっています。

## ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム参加者インタビュー

留学先：アメリカ（バレンシア大学 2018年8月～2019年1月）

## 文化や言葉の壁を越えて得られた 出会いや経験は人生の財産。

国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース 3年  
東京都 私立淑徳高等学校（留学コース）卒  
藤田 紗奈 Sana Fujita

高校時代のカナダ留学で得た異文化理解や英語力を生かし、ディズニーワールドという世界を舞台に活躍することを目標に参加しました。

就業体験では、世界中から集まるキャストやゲストの方々と触れ合い、多様性を受け入れる大切さを痛感しました。未知の世界に足を踏み入れ、文化や言葉の壁を乗り越えて出会った人々や、得られた経験は人生の財産です。今後は、この体験を機に興味を持った環境問題について深く学んでいきたいです。ゼミの活動として参加する海外調査実習では、スイスのジュネーブにある国連でフードロスについて論文発表を行い、一人でも多くの消費者意識を高め、食育を導入したフードロス削減のための取り組みを提案していきます。



## 国際ボランティア参加者インタビュー

渡航先：ベトナム（ホーチミン 2018年9月）

## 言語以外にもコミュニケーションが 図れることを体験しながら学べた。

医学部 看護学科 2年  
神奈川県 私立洗足学園高等学校卒  
本田 葵 Aoi Honda

海外に行きたい、日本以外の福祉事情を知りたい。そんな想いで、ベトナムでの児童福祉ボランティアに参加しました。ボランティア活動では、障害のある子どもたちや孤児の食事を助けたり、一緒に散歩に出かけるためにコミュニケーションをとることが求められます。言語の壁と言葉を話すことができない子どもたち、そんな状況で最初は何もできずにいました。しかし、体の動きや表情で意志を伝えようとする子どもたちに気づき、言語以外の手段で意思疎通ができる実感しました。今後は、日頃から相手のちょっとした行動にも関心を持つことに加え、発展途上国の福祉を発展させるため先進的な外国の福祉について学びたいと考えています。

※学生の所属は、2018年度以前入学の学部・学系・コース名となっています。

## 海外インターンシップ参加者インタビュー

渡航先：ベトナム（PGT Holdings Joint Stock Company 2018年8月）

## 実務に近い業務に携わり、 キャリアの視点を広げられる機会に。

国際総合科学部 国際教養学系 国際文化コース 4年  
神奈川県 私立法政大学第二高等学校卒  
宮下 伊能 Ino Miyashita

体育会系の部活に所属しており、まとまった時間の捻出が困難なため、短期間でより実践的な英語を活用・習得できる海外インターンシップへの参加を決めました。また働くことの厳しさを知って、海外で働くイメージをつかむという目的もありました。インターンシップでは、正解を提示されないまま、プロジェクトに取り組むことが非常に多く、主体的な行動と、道筋を立てて仕事をする事の大切さを学び、それらの経験が学生生活の中でプラスに働いています。今後は、社会に出てから生かせるスキルとして、ものごとを1から作り上げていくことを、能動的に行えるようにしていきたいです。

